

中小企業景況調査報告書

(第 119回)

平成22年 7 ~ 9 月期 実 績
平成22年10 ~ 12月期 見通し

平成22年10月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成22年9月
- (2) 調査対象期間 平成22年7～9月期実績及び平成22年10～12月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	43	62	44	66	63	278
中規模	17	13	19	14	25	88
合計	60	75	63	80	88	366
構成比(%)	16.4	20.5	17.2	21.9	24.0	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 13社、建設業 15社、卸売業 8社、
小売業 24社、サービス業 35社、合計 95社

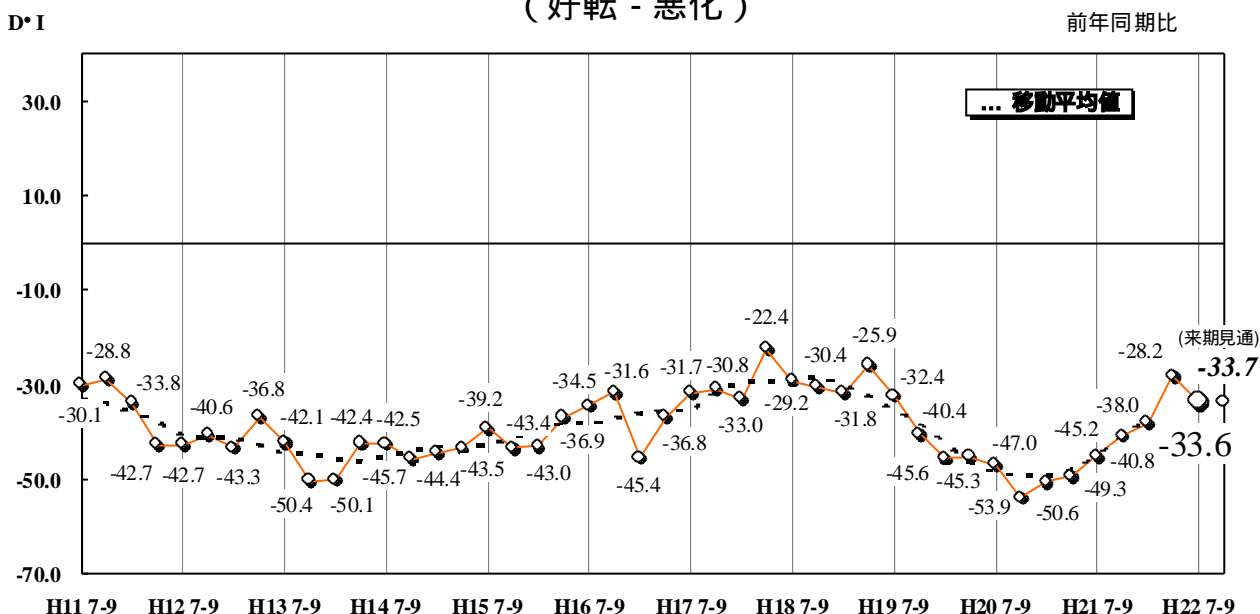
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

- 業況D・Iの18ヶ月続いた回復基調に陰り、先行きの警戒感強まる -

業況推移（全業種平均D・I）
（好転 - 悪化）



今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（7月～9月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成21年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では 33.6と7期振りに、マイナス幅は拡大したほか、前期比（平成22年4月～6月期の水準と比較した今期の業況）では 22.3となっており、マイナス幅が拡大した。

前回の調査（平成22年4月～6月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前年同期比では前回 28.2 今回 33.6と5.4ポイントマイナス幅が拡大し、前期比では前回 21.7 今回 22.3と0.6ポイントマイナス幅が拡大している。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 19.3 今回 33.3)、建設(前回 40.1 今回 34.6)、卸売(前回 20.0 今回 33.4)、小売(前回 35.0 今回 37.5)、サービス(前回 26.4 今回 29.1)と、建設業を除く4業種でマイナス幅が拡大した。業界組合・企業からのコメントでは総じて依然業況の悪化を訴える声が多く、企業間での景況感にばらつきが見られる。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成21年10月～12月期の水準と比較した来期の見通し）では、 33.7とほぼ横ばいの見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」(製造業42.2%、建設業32.1%、卸売業60.6%、小売業29.1%、サービス業43.4%)が依然として大きな要因となっている他、製造業では「製品加工単価の低下・上昇難」(13.0%)・「製品ニーズの変化への対応」(13.0%)、建設業では「請負単価の低下・上昇難」(23.2%)、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」(15.5%)、小売業では「販売単価の低下・上昇難」(14.5%)、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」(8.6%)・「大企業進出による競争の激化」(8.6%)などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で18.1%と、前回調査時(13.6%)より4.5%上昇した。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値(前年同期比) 33.3(来期見通し 35.5)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成22年4月～6月期)時点からの推移では、前回 19.3 今回 33.3と14.0ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、製品加工単価の低下・上昇難による採算の悪化を訴える声があった。

〔主なコメント〕

- ・猛暑による漁獲量の減少に伴い、主要な水産加工原料の価格が軒並み高騰したが、単価を上げることもできないため採算は悪化している。(水産加工業)
- ・円高により材料価格は値下げ傾向にあるが、いかんせん発注数が少ない。(製造業)
- ・じわりじわりと売上が減少している上、先行きの不透明感が強く、早急な組織改革に迫られている状況。(製造業)
- ・製造単価の比較的安価のものについては、製造量は増加している。(食品製造業)

【建設業】 [業況D・I値(前年同期比) 34.6(来期見通し 35.9)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成22年4月～6月期)時点からの推移では、前回 40.1 今回 34.6と5.5ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、新築建築の受注の減少や販売単価の低下・上昇難による業況の悪化を訴える声が見られた。

〔主なコメント〕

- ・受注は頭打ちで売上減少傾向。今後も秋から年末・冬期間の受注は見込めないの、資金繰りの対応を早めにしていきたい。(建設業)
- ・新築獲得は厳しい動向に入っている。独自性ある方向付けが企業に求められるが顧客の絶対数がなく、経営は一層の効率化を追求せざるを得ない。(建設業)
- ・新築家屋の着工戸数は昨年同期に比べ半減している。業者間の競争が熾烈となり生き残りが難しい状況。(建設業)
- ・リフォームの問い合わせが以前より多くなっているが、新築住宅の受注は減少傾向にある。

(建設業)

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 33.4（来期見通 33.9）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成22年4月～6月期）時点からの推移では、前回 20.0 今回 33.4と13.4ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞や販売単価の低下・上昇難等による業況の悪化を訴える声が多かった。

〔主なコメント〕

- ・猛暑による農産品、水産品の収穫減少の中で、売上・利益ともに厳しい状況。(卸売業)
- ・昨年同期と同様に低水準で苦戦している。天候不順による工期の先送りも重なり、売上が伸びない。(建築材料卸売業)
- ・メーカーより鋼材の値上げが決まり、仕入れ価格は上がるが、期の途中であるため、価格を改定するのは非常に難しい。(卸売業)
- ・業況は例年通り依然厳しい。年末に向け動きが活発になることを期待している。(卸売業)

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 37.5（来期見通 36.1）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成22年4月～6月期）時点からの推移では、前回 35.0 今回 37.5と2.5ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、消費者ニーズの変化や、個人消費の低迷などによる売上の減少を訴える声が多い。

〔主なコメント〕

- ・車輛の購入増や、高速道の無料化の拡大により、盆休暇利用の石油製品の消費が前年より増加した。一方で、業務用、輸送用といった大口需要は減少している。(小売業)
- ・消費者の低価格志向が強まっており、安い商品の売上は上がっている。(小売業)
- ・依然として、人口減少や消費低迷、大型店の影響により商店街は厳しい状況にある。(商店街)
- ・気温の上昇と好天に恵まれ売上が伸びた。(コンビニエンスストア)

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 29.1（来期見通 27.0）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成22年4月～6月期）時点からの推移では、前回 26.4 今回 29.1と2.7ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞、利用者ニーズの変化により、業況悪化を訴える声が目立つ。

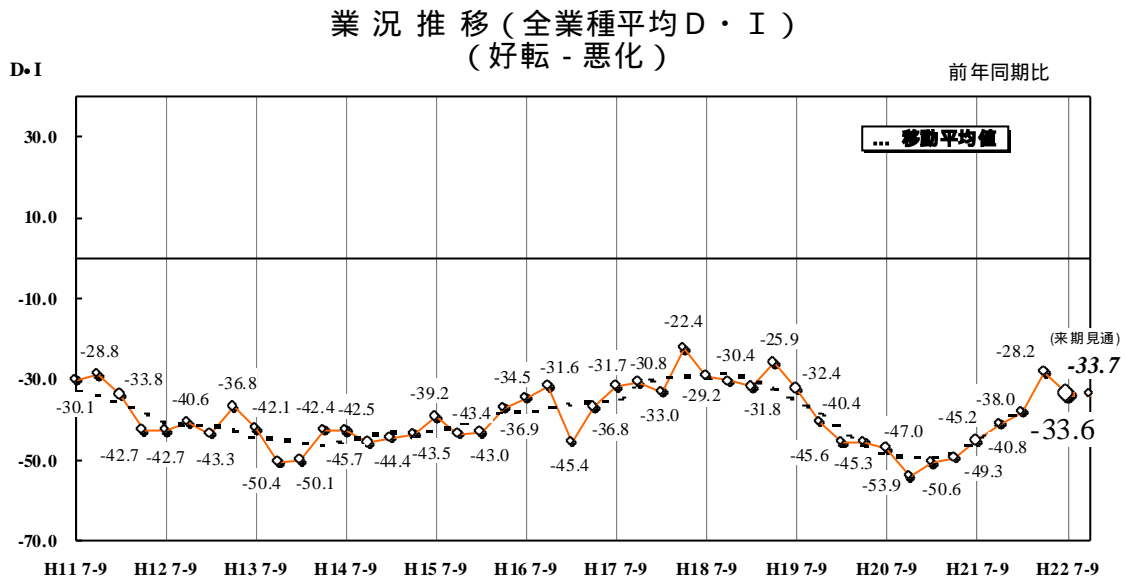
〔主なコメント〕

- ・消費者の所得の減少からか、飲食にかける客単価は減少している。(飲食店)
- ・客数は増加しているが、家族連れの減少が目立った。結果として大部屋が埋まらず客単価は下降した。(ホテル)
- ・インターネット利用の拡大により、減収減益。営業、店頭販売だけでは売上下降の一途を辿っている。(旅行代理店)

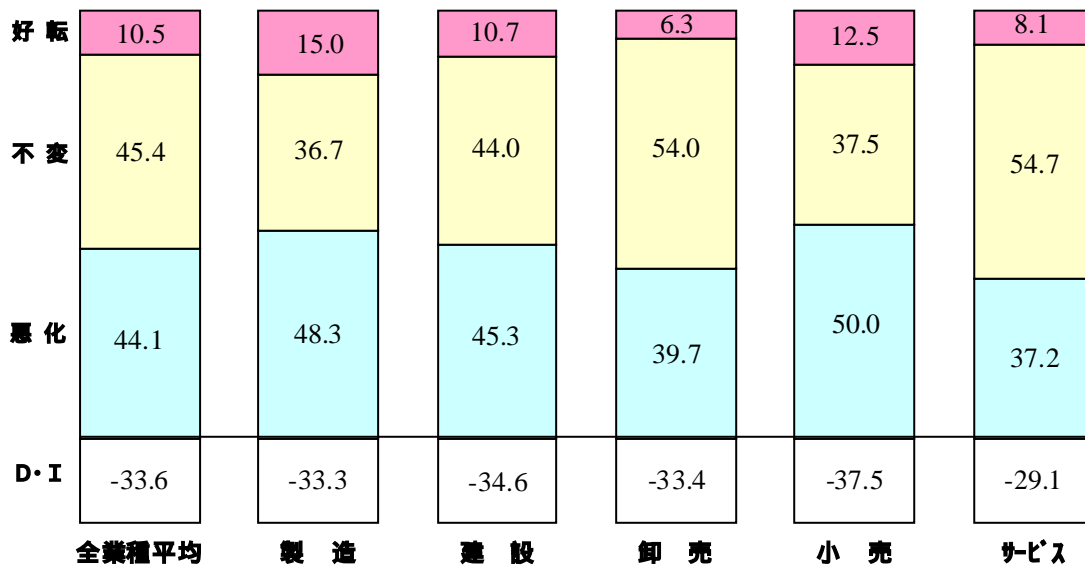
1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成21年 7 ~ 9 月期の水準と比較した今期の業況）



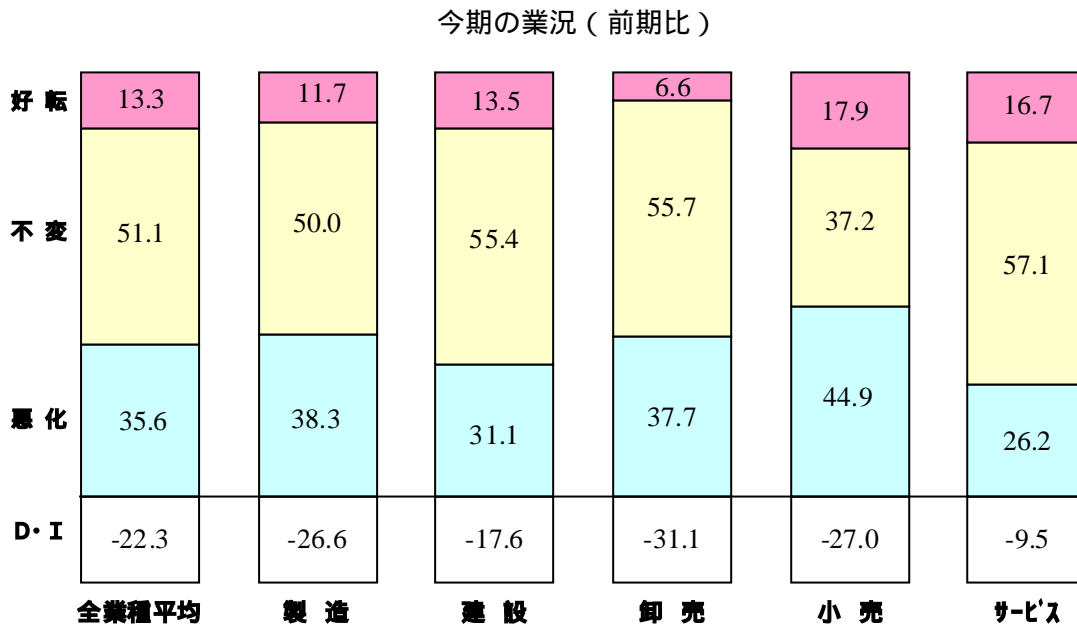
今期の業況（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **33.6**〔前回調査時（平成22年4～6月期 28.2）より5.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 19.3 33.3〕、建設〔前回 40.1 34.6〕
卸売〔前回 20.0 33.4〕、小売〔前回 35.0 37.5〕
サービス〔前回 26.4 29.1〕

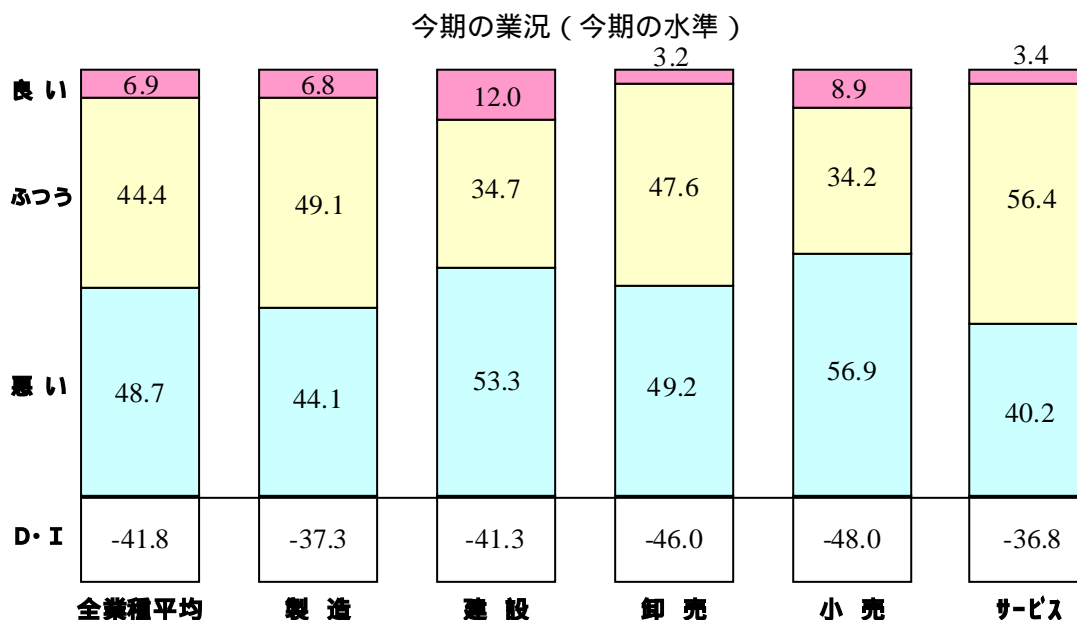
【前期比】（平成22年 4 ～ 6 月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **22.3**〔前回調査時（平成22年1～3月期 21.7）より0.6ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 16.9 26.6〕、建設〔前回 30.0 17.6〕
卸売〔前回 18.4 31.1〕、小売〔前回 25.3 27.0〕
サービス〔前回 17.9 9.5〕

【今期の水準】



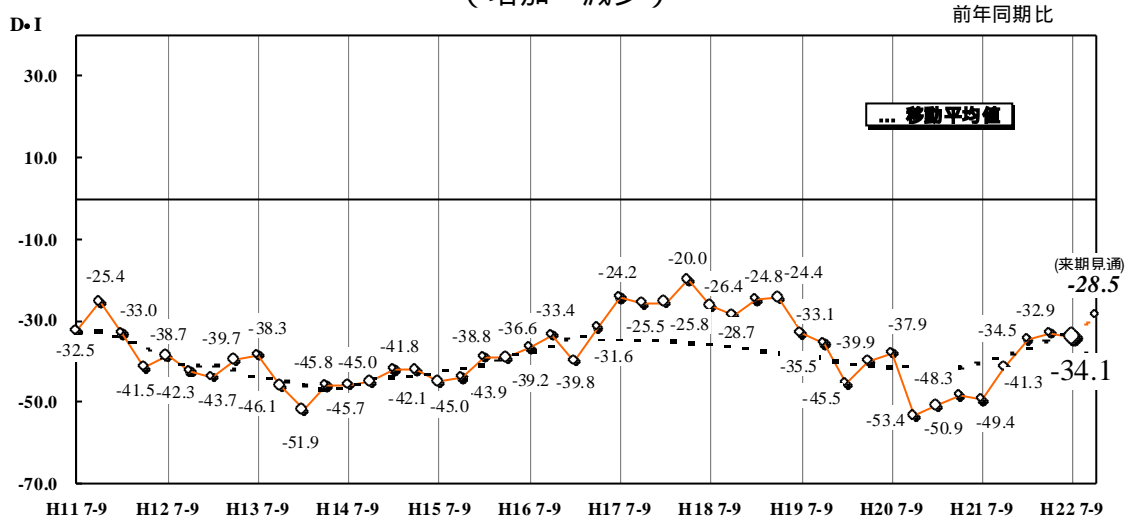
全業種平均でD・I値 **41.8**〔前回調査時（平成22年4～6月期 40.0）より1.8ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 35.5 37.3〕、建設〔前回 31.4 41.3〕
卸売〔前回 34.9 46.0〕、小売〔前回 52.4 48.0〕
サービス〔前回 46.0 36.8〕

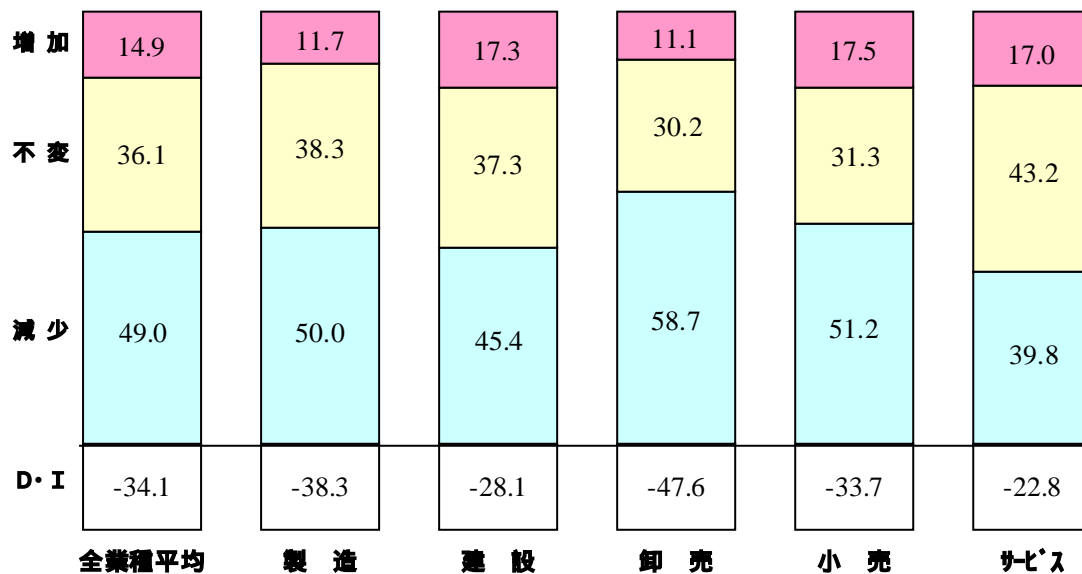
(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成21年 7～9月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高推移（全業種平均D・I）
（増加 - 減少）



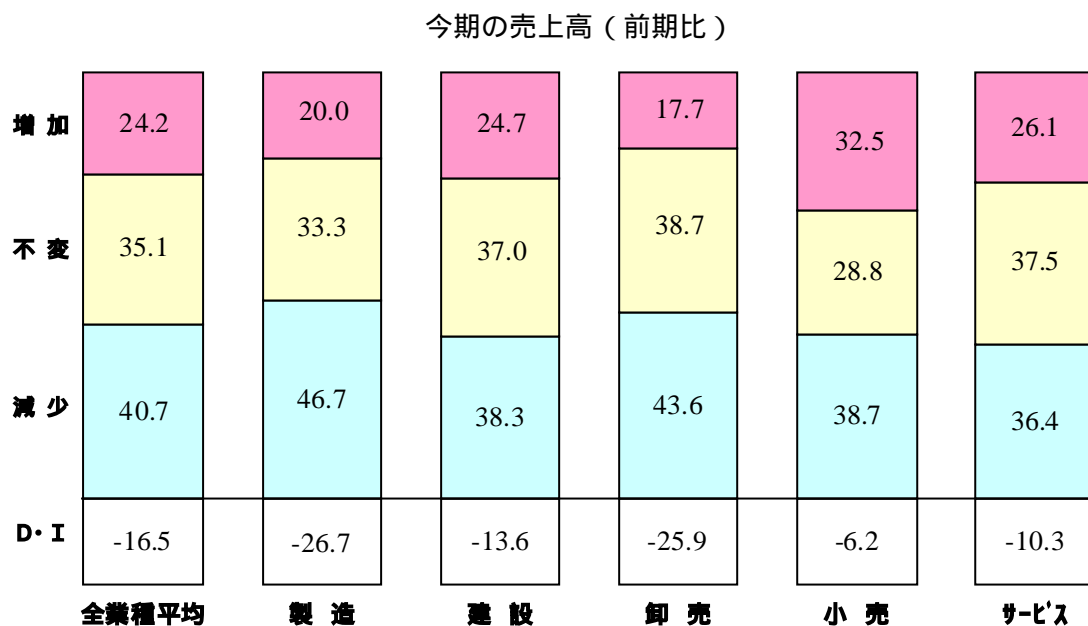
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **34.1**〔前回調査時（平成22年4～6月期 32.9）より1.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 30.6 38.3〕、建設〔前回 38.5 28.1〕
卸売〔前回 30.8 47.6〕、小売〔前回 34.2 33.7〕
サービス〔前回 30.0 22.8〕

【前期比】（平成22年 4～6月期の水準と比較した今期の売上高）

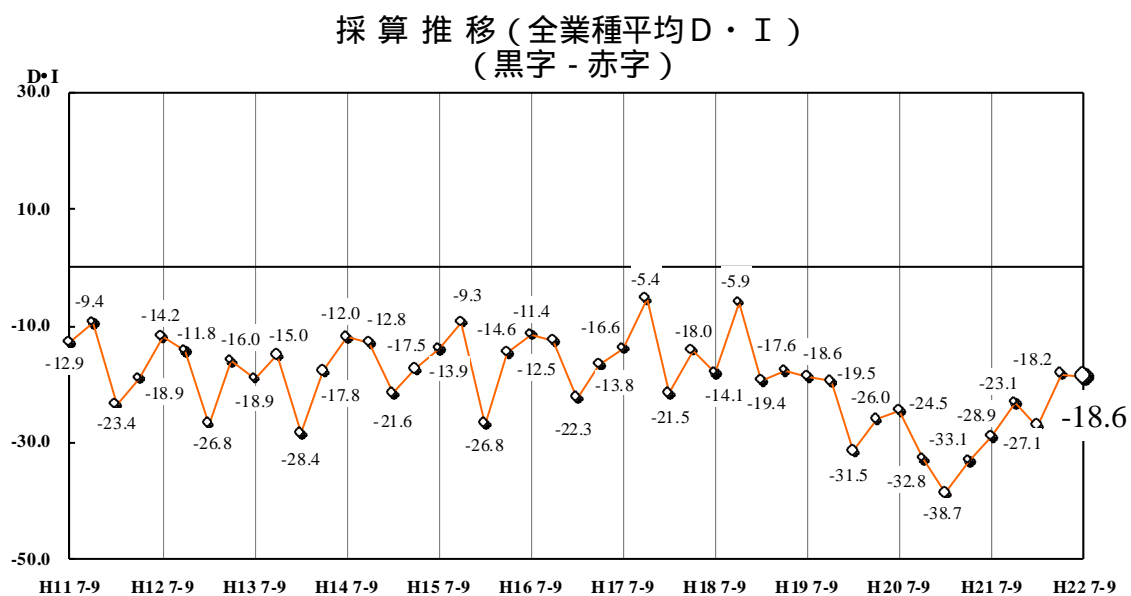


全業種平均でD・I値 **16.5**〔前回調査時（平成22年4～6月期 12.8）より3.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

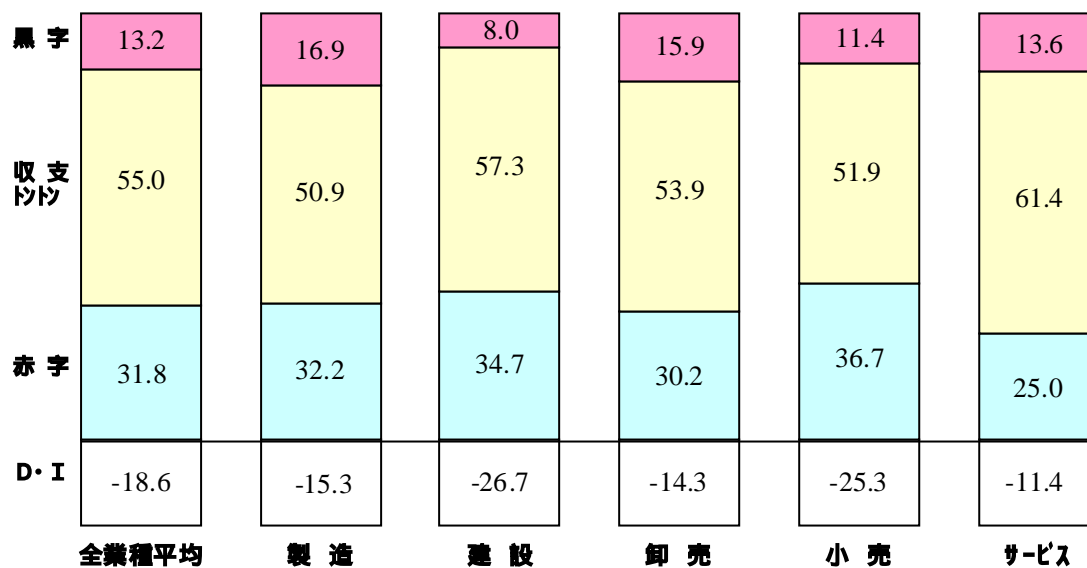
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 11.3 26.7〕、建設〔前回 27.1 13.6〕
 卸売〔前回 0.0 25.9〕、小売〔前回 15.0 6.2〕
 サービス〔前回 10.4 10.3〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期の水準】



今期の採算（今期の水準）

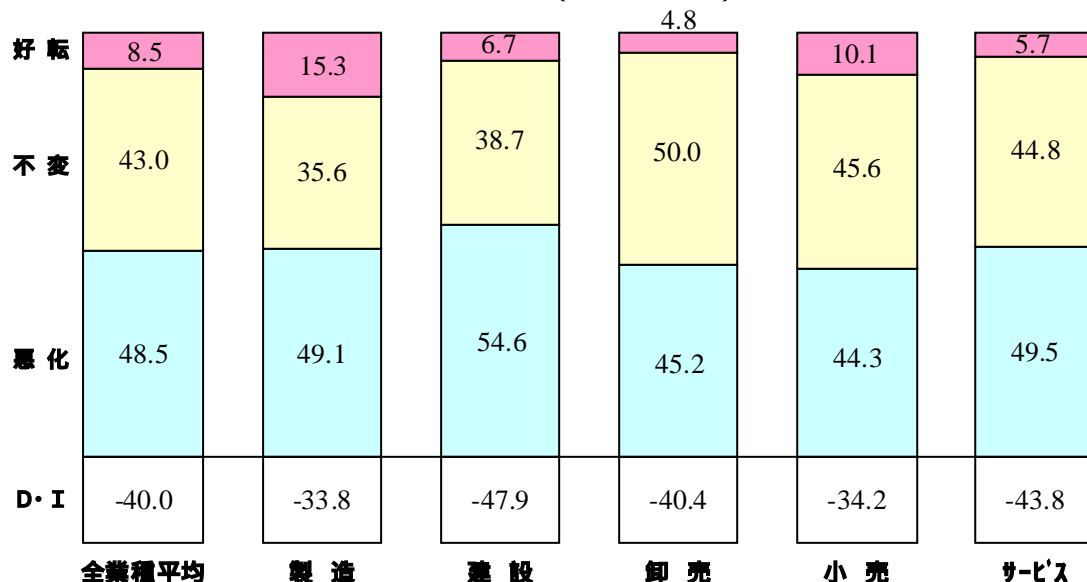


全業種平均でD・I値 **18.6**〔前回調査時（平成22年4～6月期 18.2）より0.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 5.0 15.3〕、建設〔前回 31.4 26.7〕
卸売〔前回 6.2 14.3〕、小売〔前回 30.0 25.3〕
サービス〔前回 18.4 11.4〕

【前年同期比】（平成21年7～9月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）



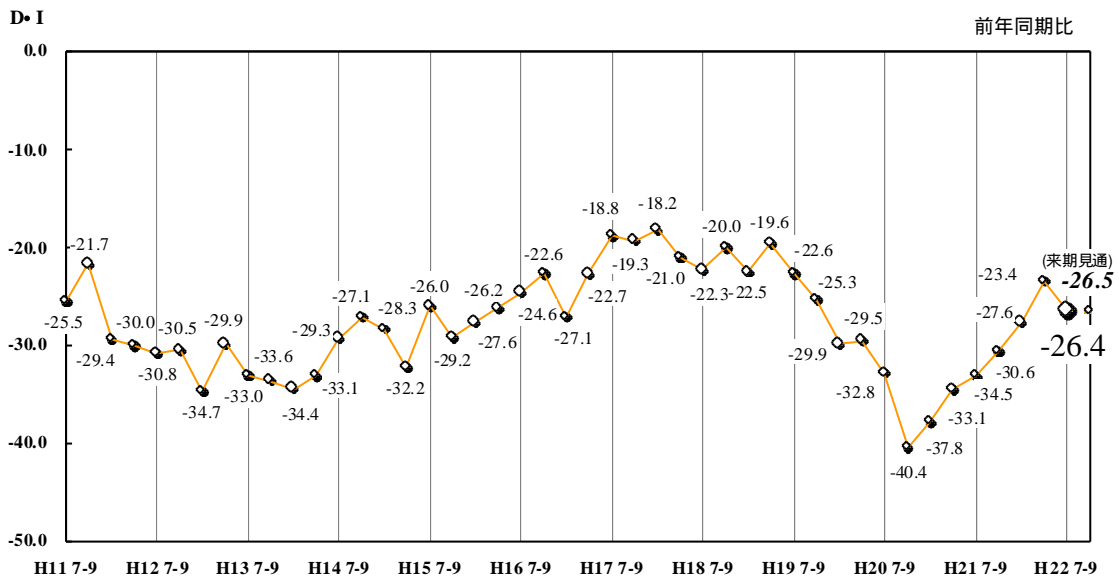
全業種平均でD・I値 **40.0**〔前回調査時（平成22年4～6月期 34.2）より5.8ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 20.0 33.8〕、建設〔前回 55.7 47.9〕
卸売〔前回 26.2 40.4〕、小売〔前回 39.9 34.2〕
サービス〔前回 29.4 43.8〕

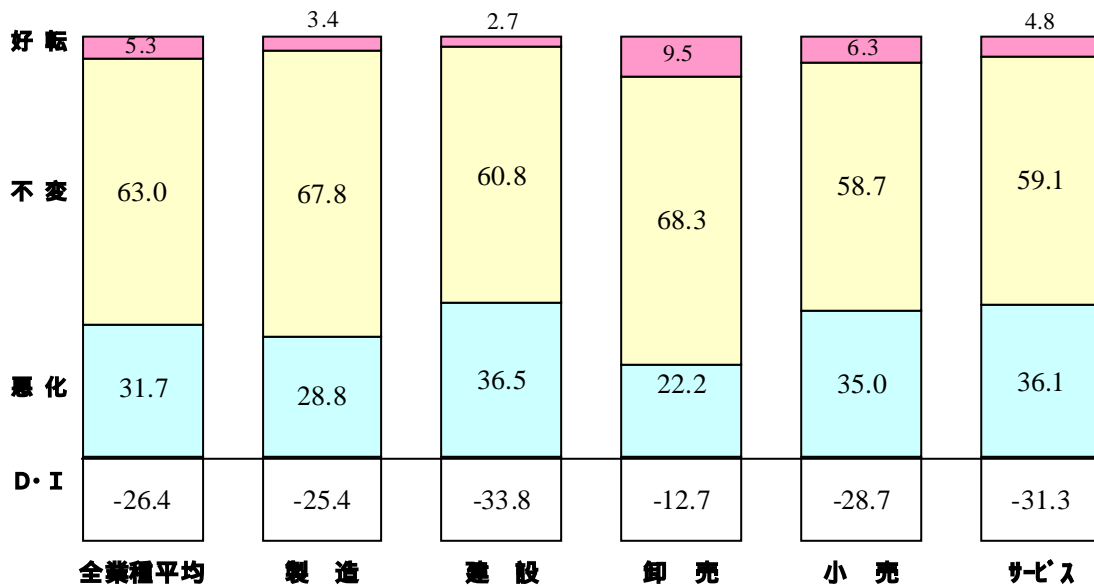
(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成21年7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移（全業種平均D・I）
（好転 - 悪化）



今期の資金繰り（前年同期比）



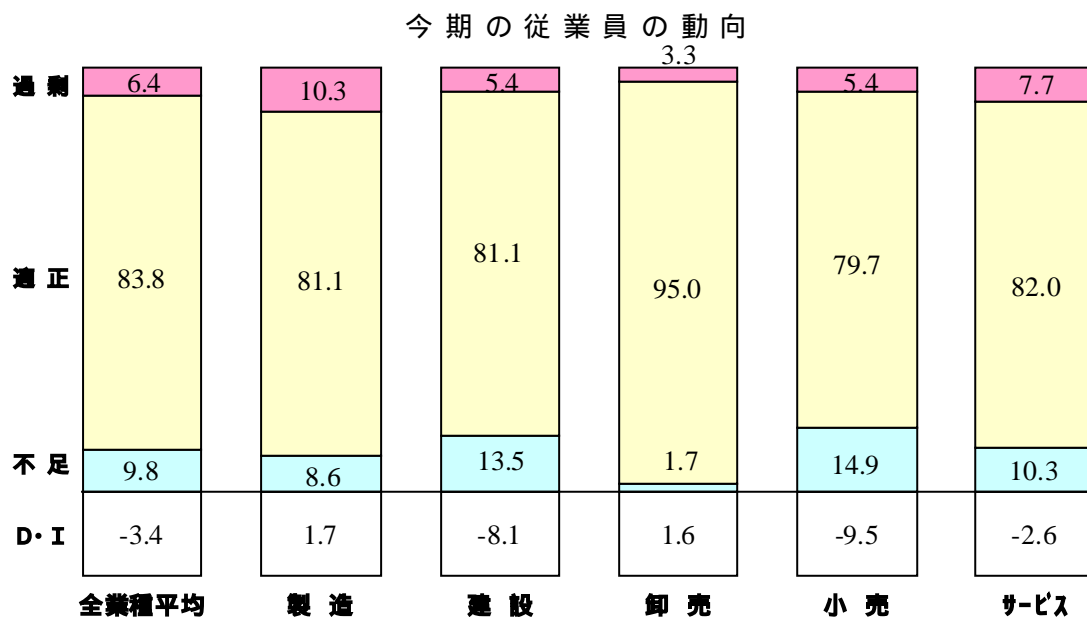
全業種平均でD・I値 **26.4**〔前回調査時（平成22年4～6月期 23.4）より3.0ポイントマイナス幅が拡大〕。前回調査時に比べ、D・Iはマイナス幅が拡大しているが、総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 11.4 25.4〕、建設〔前回 32.4 33.8〕
卸売〔前回 12.3 12.7〕、小売〔前回 38.0 28.7〕
サービス〔前回 22.9 31.3〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「需要の停滞」	(42.2%) [前回 38.6%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(13.0%) [前回 14.8%]
	「製品ニーズの変化への対応」	(13.0%) [前回 5.6%]
建設業	「官公需要の停滞」	(32.1%) [前回 33.5%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(23.2%) [前回 27.3%]
	「民間需要の停滞」	(21.7%) [前回 16.7%]
卸売業	「需要の停滞」	(60.6%) [前回 57.6%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(15.5%) [前回 8.8%]
	「メーカーの進出による競争の激化」	(5.2%) [前回 1.8%]
小売業	「需要の停滞」	(29.1%) [前回 34.7%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(14.5%) [前回 10.7%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(11.8%) [前回 10.7%]
サービス業	「需要の停滞」	(43.4%) [前回 36.1%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(8.6%) [前回 11.5%]
	「大企業進出による競争の激化」	(8.6%) [前回 11.5%]

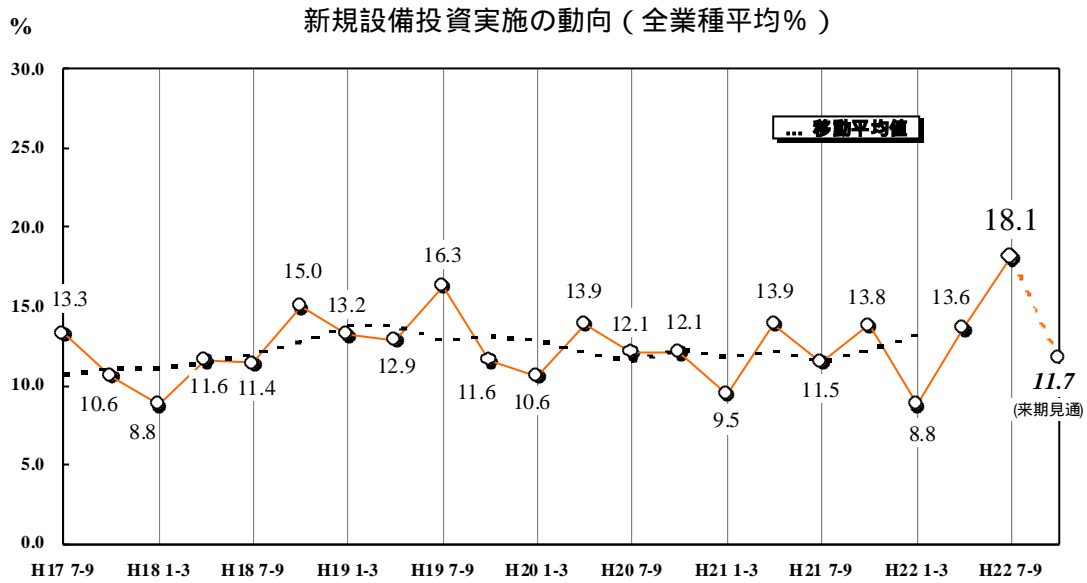
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 3.4〔前回調査時（平成22年4～6月期 0.4）〕と、前回調査時に比べ「不足」と回答する企業が増加しているが、依然「適正」（83.8%）とする企業が大半を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 3.4 1.7〕（適正81.1%）
 建設〔前回 1.5 8.1〕（適正81.1%）
 卸売〔前回 0.0 1.6〕（適正95.0%）
 小売〔前回 1.5 9.5〕（適正79.7%）
 サービス〔前回 5.1 2.6〕（適正82.0%）

(7) 今期の新規設備投資



(単位%)

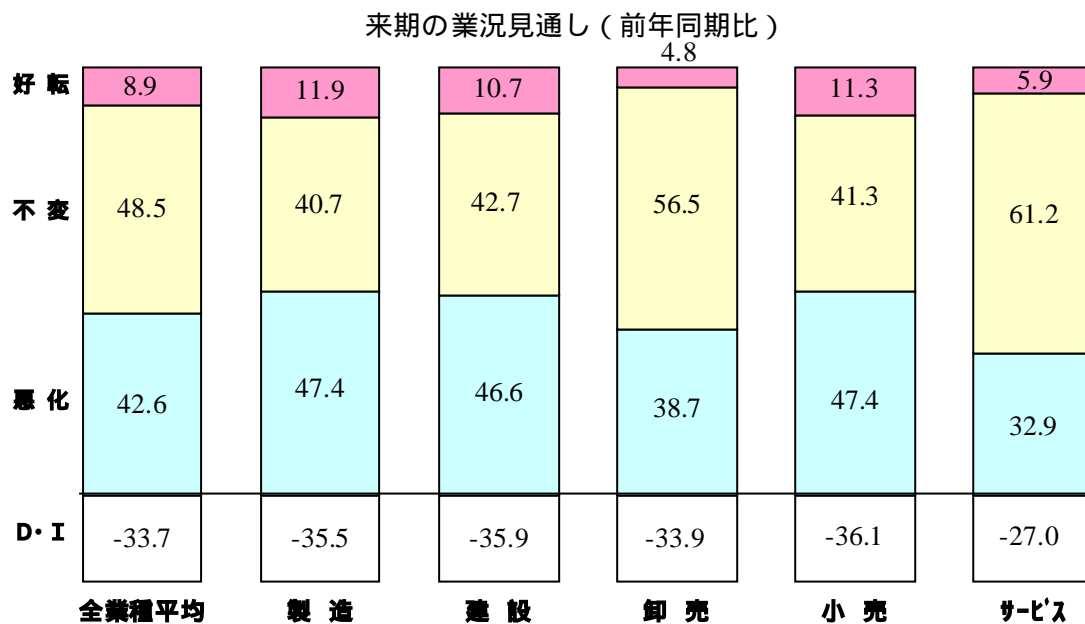
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	20.3	12.2	17.7	17.5	23.0	18.1
土地	8.3	0.0	0.0	0.0	5.0	2.7
工場建物、建物、店舗	0.0	11.1	9.1	21.4	5.0	9.3
生産・販売・サービス設備、建設機械	33.3	11.1	0.0	42.9	30.0	23.5
車両運搬具	16.7	33.3	36.4	35.7	20.0	28.4
倉庫・駐車場等の付帯施設	25.0	0.0	18.2	14.3	20.0	15.5
OA機器	41.7	44.4	27.3	21.4	40.0	35.0
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	16.7	11.1	27.3	7.1	5.0	13.4
実施していない	79.7	87.8	82.3	82.5	77.0	81.9

新たに設備投資を実施した企業は平均で18.1%〔前回調査時（平成22年4～6月期13.6%）〕、業種別では製造〔前回16.4% 20.3%〕、建設〔前回10.0% 12.2%〕、卸売〔前回15.4% 17.7%〕、小売〔前回11.4% 17.5%〕、サービス〔前回14.9% 23.0%〕と、全業種について前回調査時の水準を上回った。

2. 来期の見通し

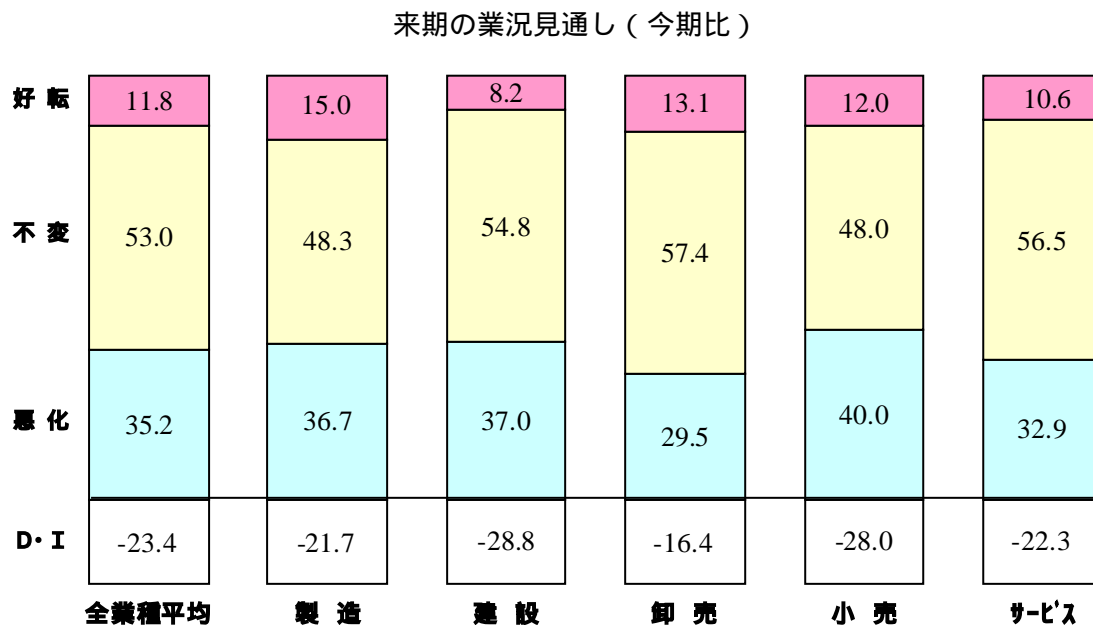
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成21年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **33.7**〔今期の業況（前年同期比 33.6）より0.1ポイントマイナス幅が拡大〕と、業況は依然低迷が続く。

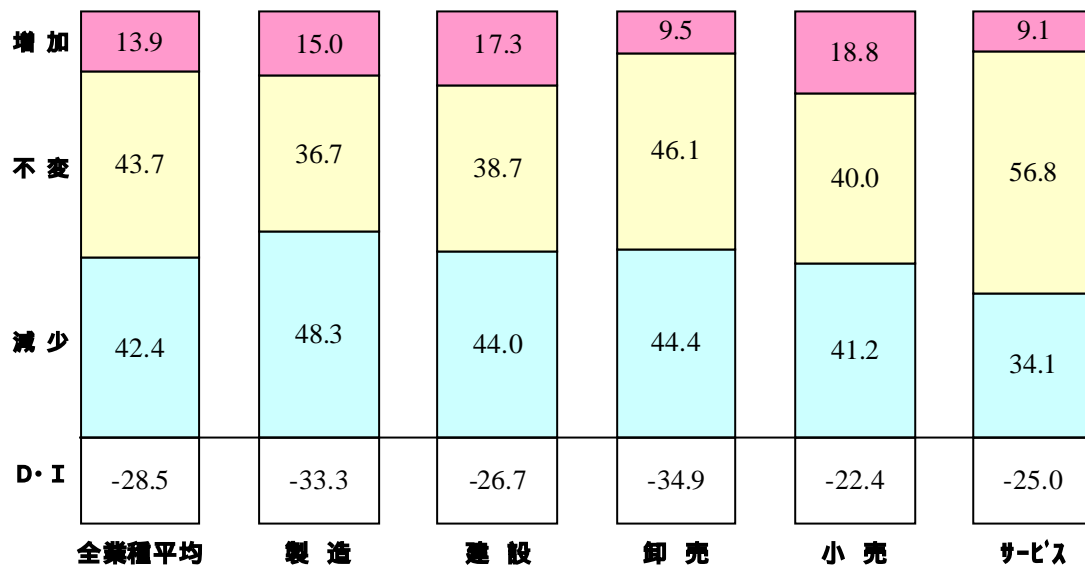
【今期比】（平成22年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成21年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

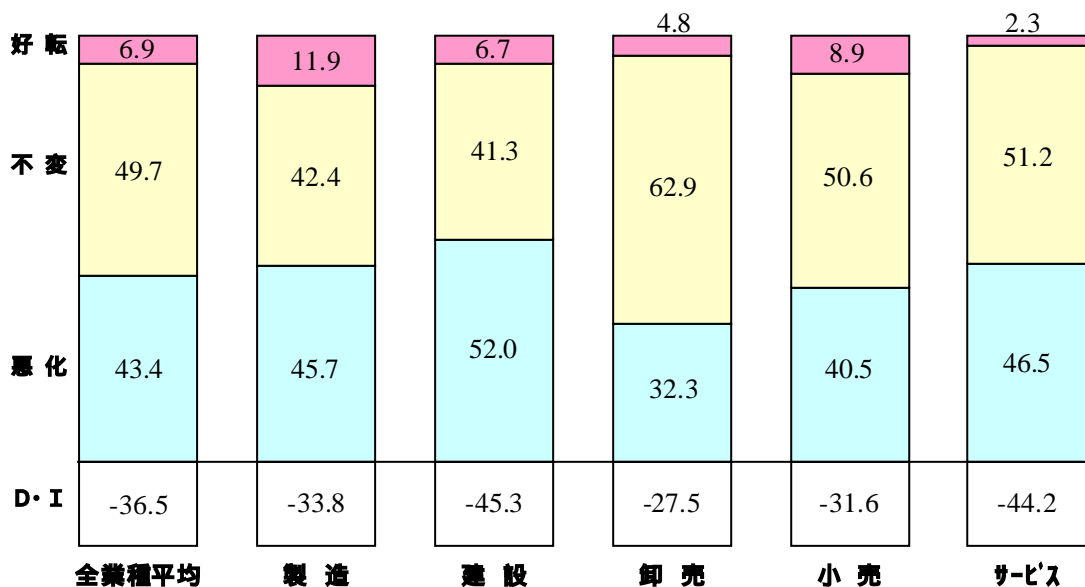


全業種平均でD・I値 28.5〔今期の売上高（前年同期比 34.1）より5.6ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成21年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 36.5〔今期の採算（前年同期比 41.8）より5.3ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

(単位%)

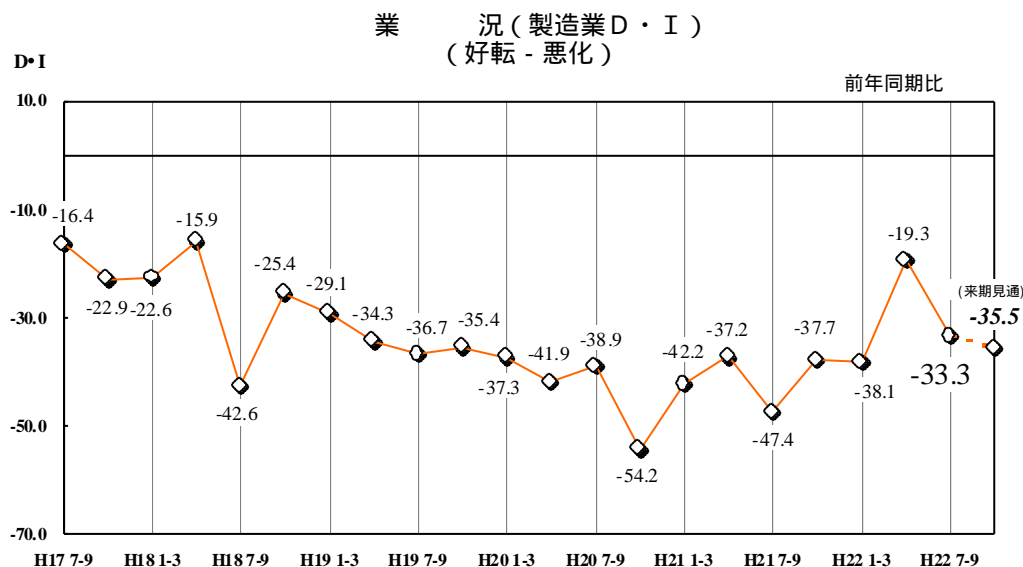
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	11.9	11.0	10.0	10.1	15.3	11.7
土地	0.0	0.0	16.7	12.5	0.0	5.8
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	16.7	0.0	15.4	6.4
生産・販売・サービス設備、建設機械	42.9	12.5	16.7	0.0	30.8	20.6
車両運搬具	0.0	62.5	0.0	50.0	7.7	24.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	14.3	0.0	16.7	12.5	23.1	13.3
O A 機器	28.6	25.0	33.3	37.5	46.2	34.1
厚生施設	0.0	0.0	16.7	0.0	7.7	4.9
その他	28.6	25.0	33.3	12.5	0.0	19.9
実施しない	88.1	89.0	90.0	89.9	84.7	88.3

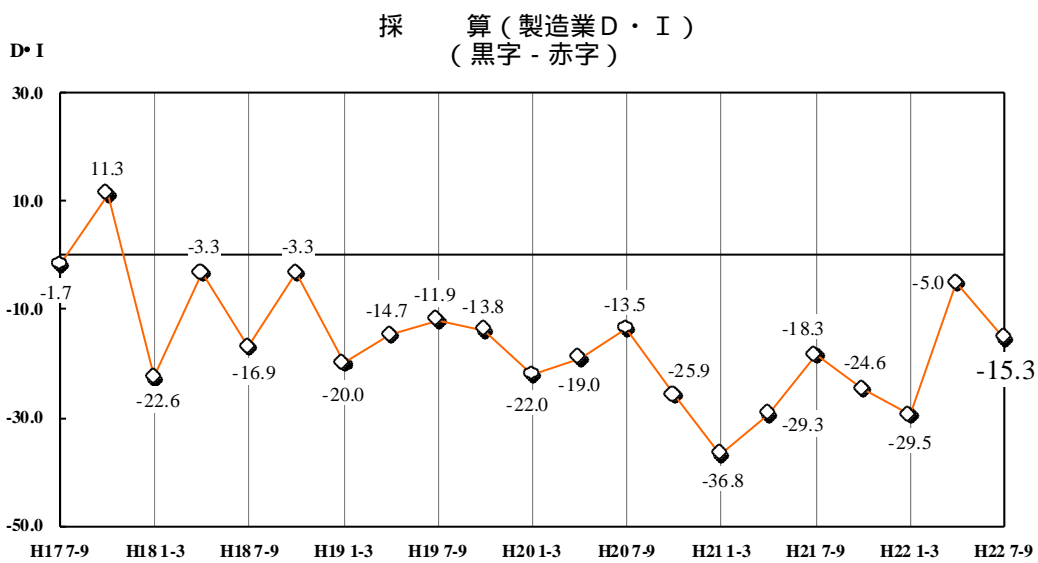
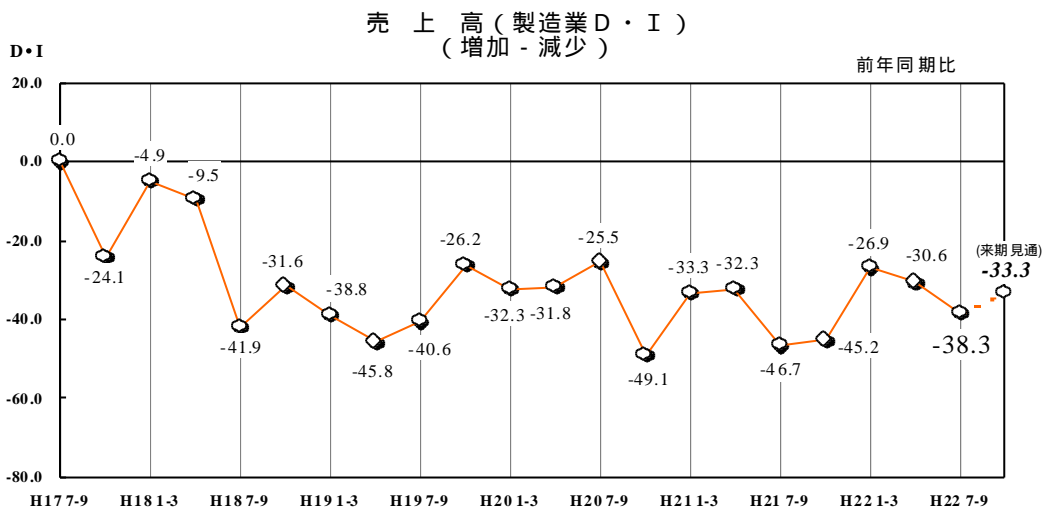
新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**11.7%**となっており、今期(18.1%)を下回る見通し。

業種別では、製造〔今期20.3% 11.9%〕、建設〔今期12.2% 11.0%〕、卸売〔今期17.7% 10.0%〕、小売〔今期17.5% 10.1%〕、サービス〔今期23.0% 15.3%〕となっている。

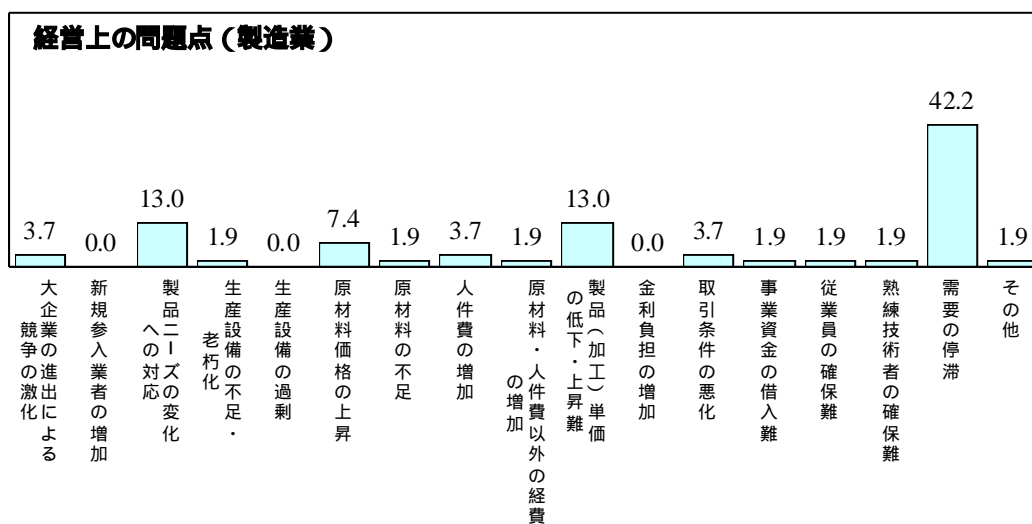
業種別の動向

(1) 製造業





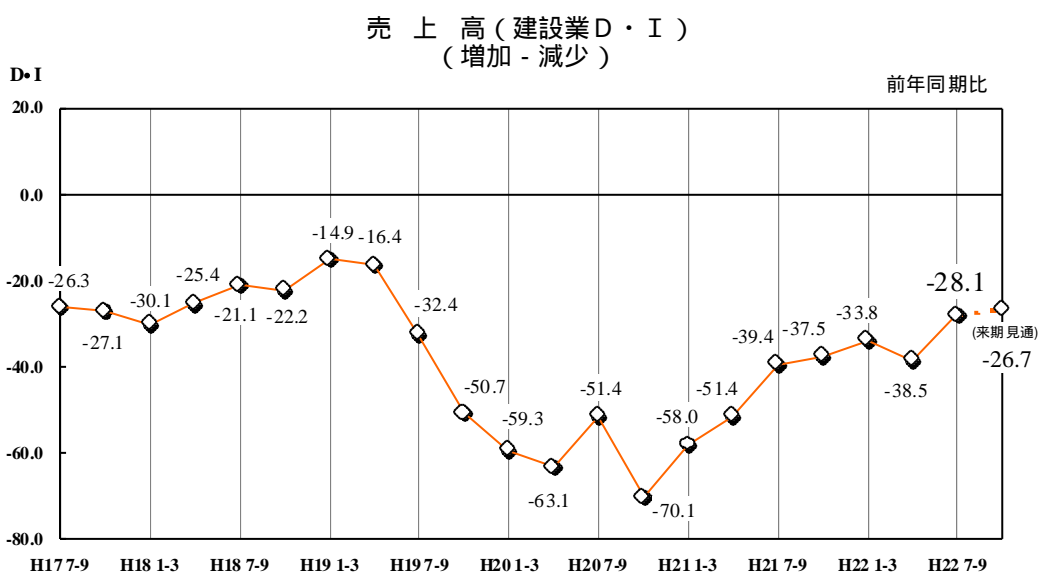
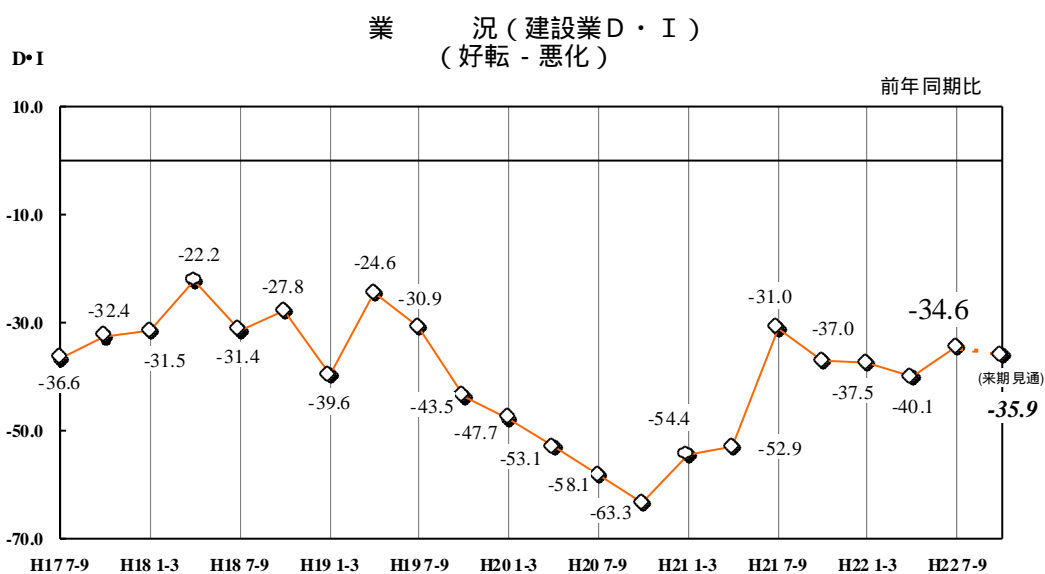
経営上の問題点



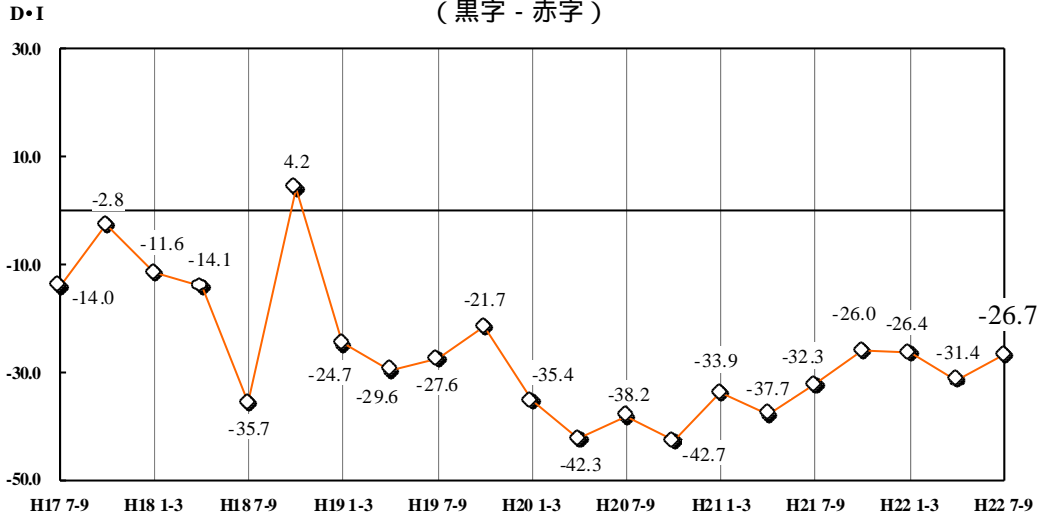
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	25.4	27.6	28.8 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	15.4	13.4 (今期比)
短期 "	-----	4.1	4.1 (今期比)
設 備 操 業 率	41.0	-----	40.0 (前年同期比)

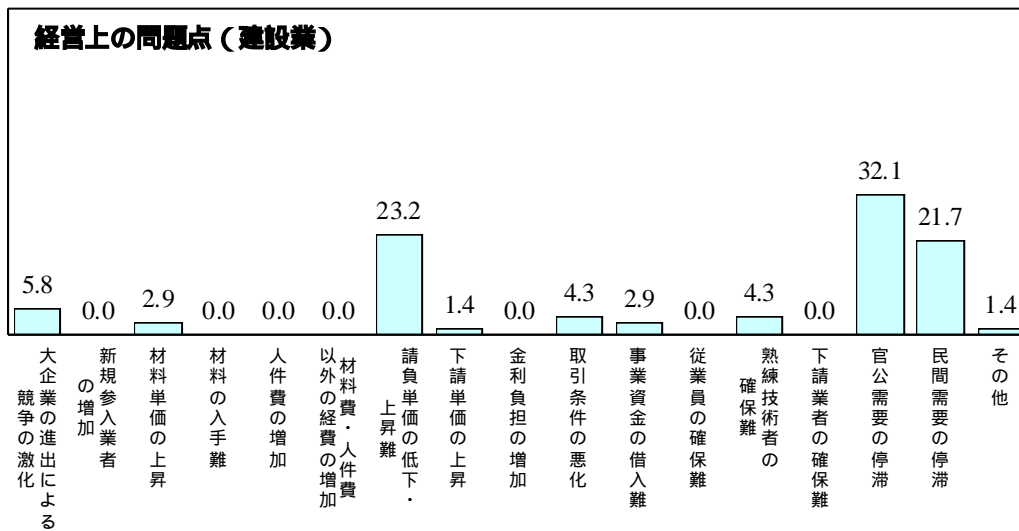
(2) 建 設 業



採 算 (建設業D・I)
(黒字 - 赤字)



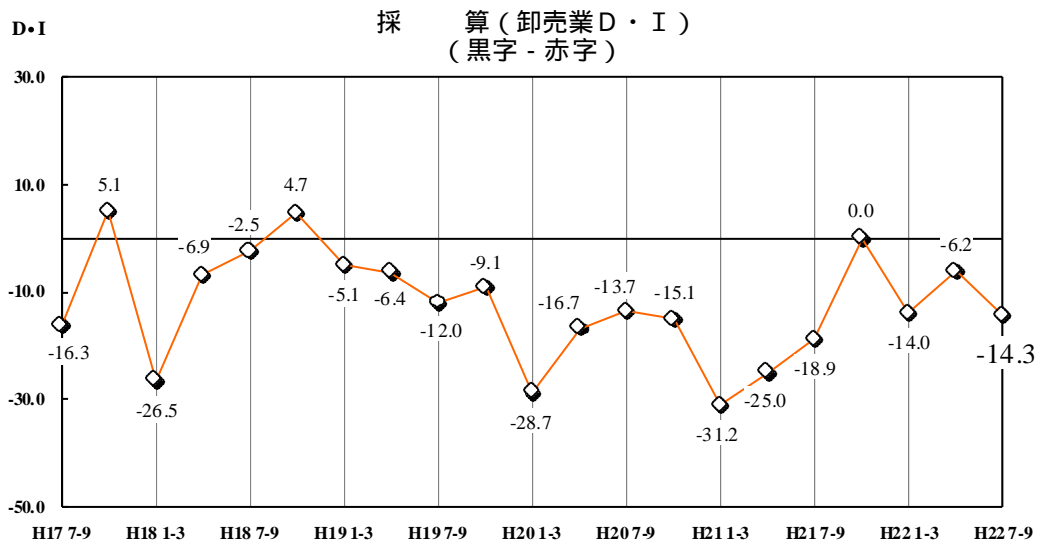
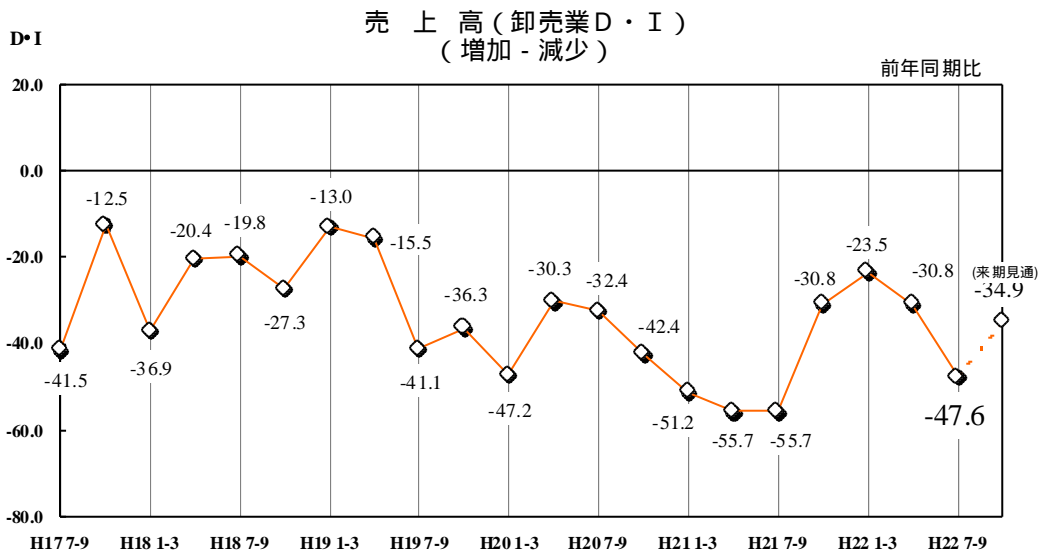
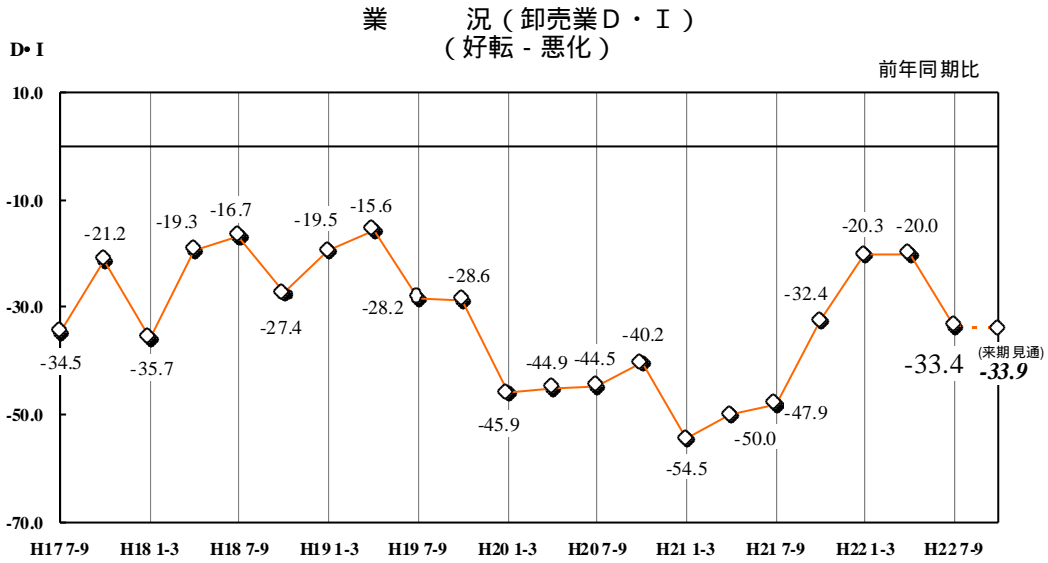
経営上の問題点



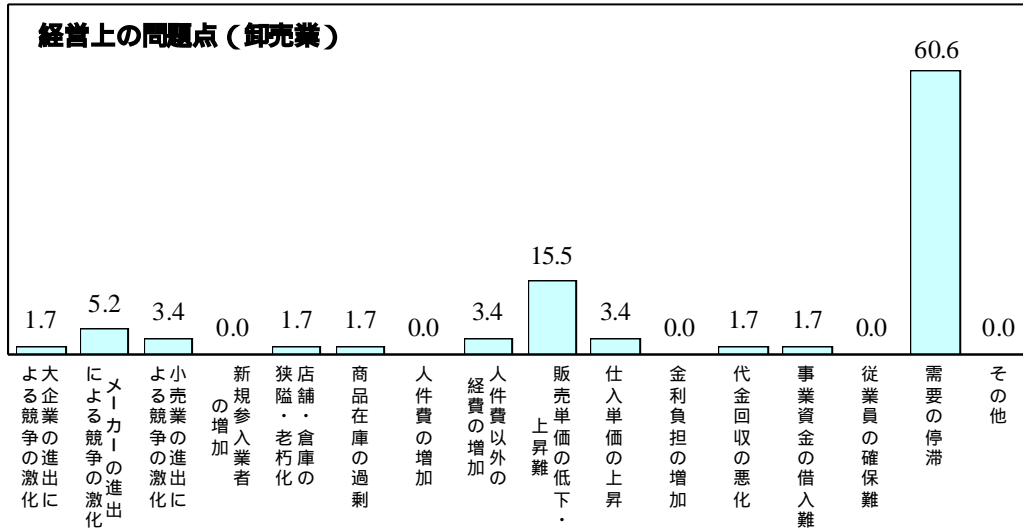
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	33.8	24.7	33.7 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	8.6	11.4 (今期比)
短期 "	-----	7.3	4.3 (今期比)
受注(新規契約工事)額	35.7	-----	31.4 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



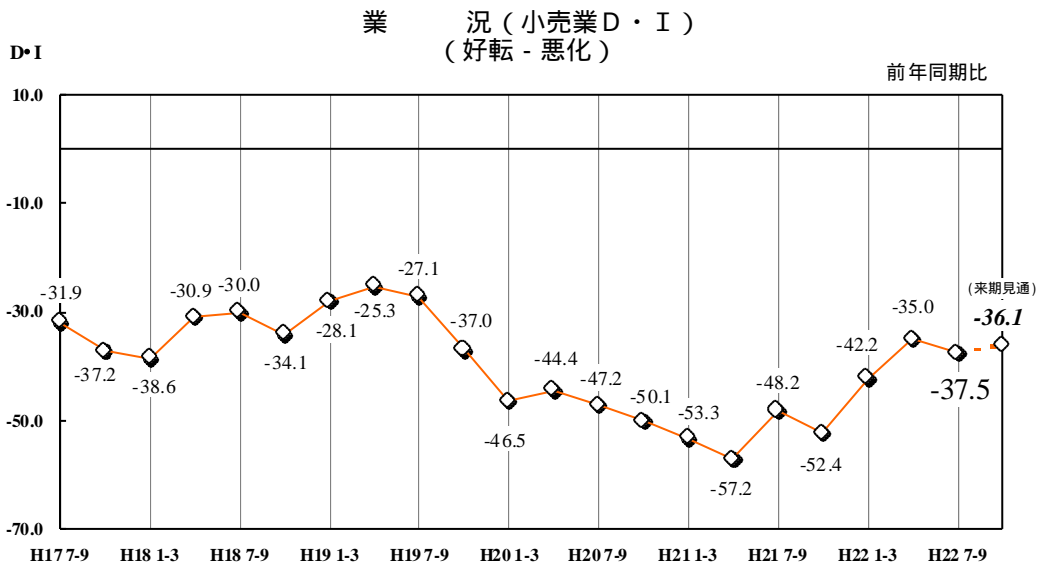
経営上の問題点

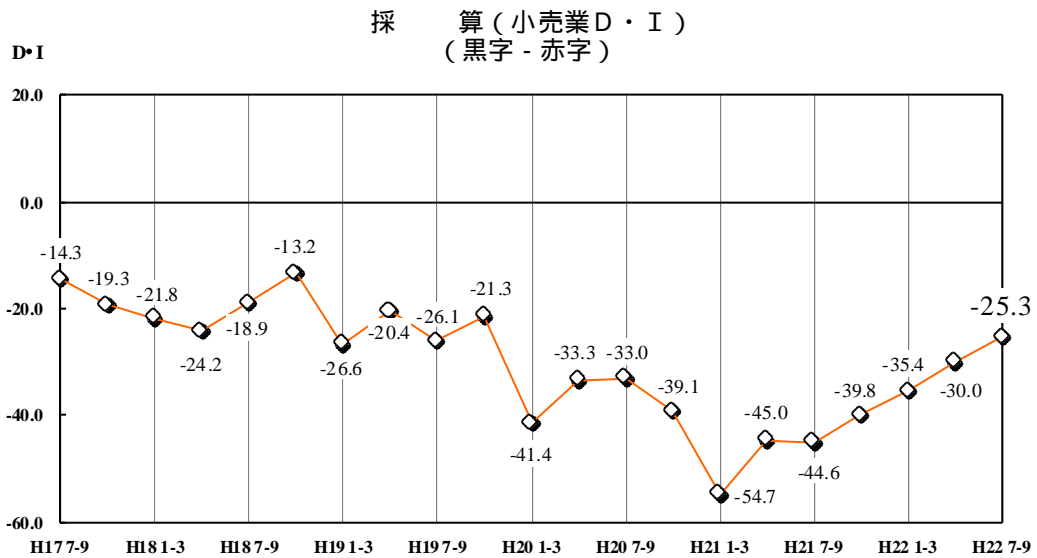
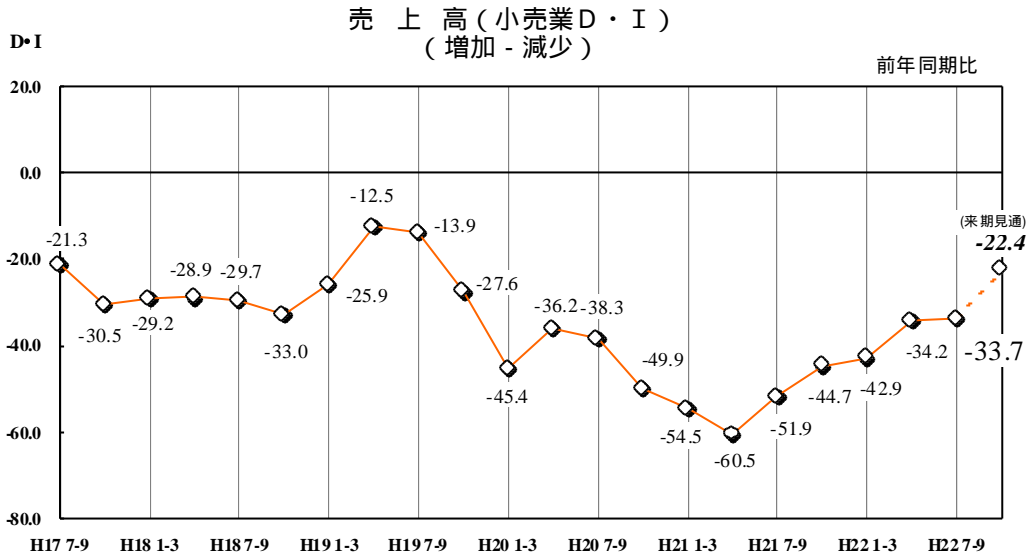


その他（D・I値）

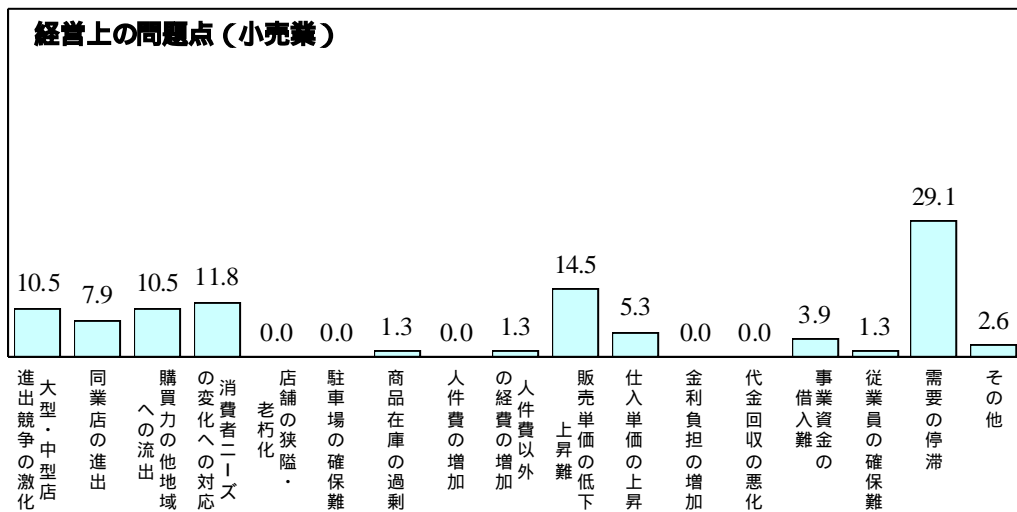
	今 期		来 期
	(前年同期比)	(前期比)	(見通し)
資金繰り	12.7	14.3	11.2 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	1.7	0.0 (今期比)
短期 "	-----	1.7	0.0 (今期比)
商品在庫数量	37.1	-----	37.1 (前年同期比)

(4) 小 売 業





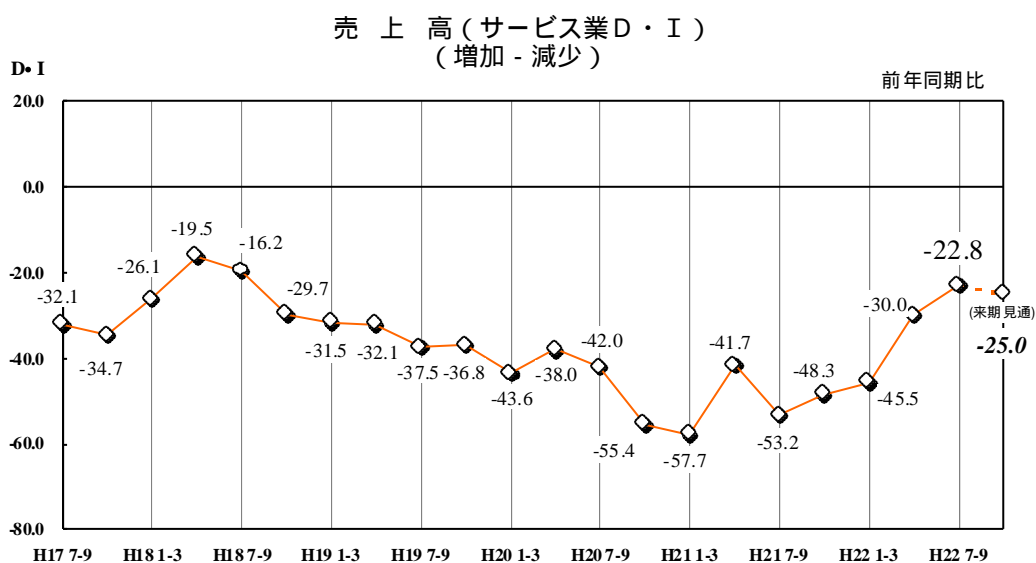
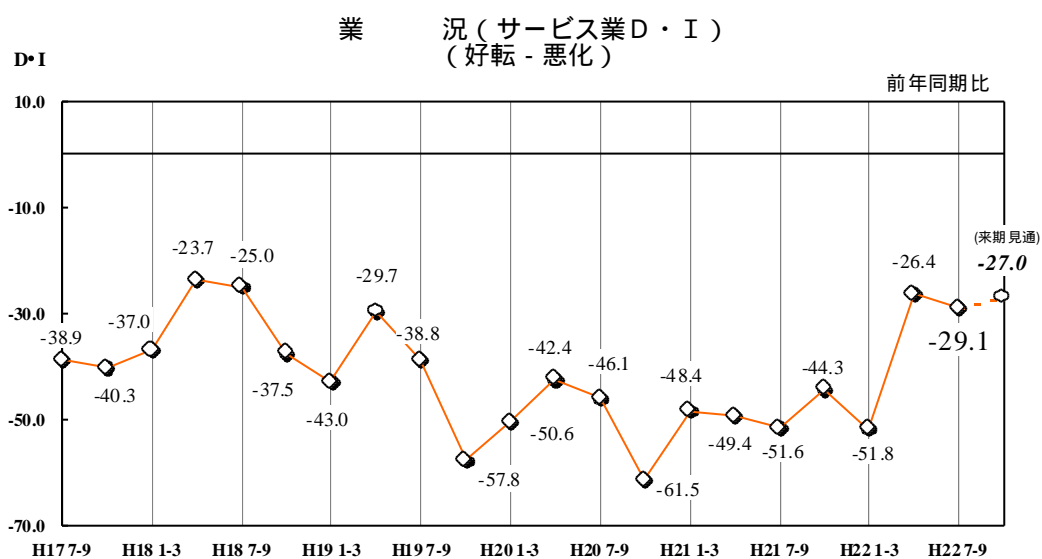
経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	28.7	22.5	23.8 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	24.0	19.1 (今期比)
短期 〃	-----	22.8	21.0 (今期比)
商品在庫数量	23.7	-----	25.0 (前年同期比)

(5) サービス業



業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成22年 7月~ 9月)の水準			
	今	期	前	D・I
業況(自社)	6.8	49.1	44.1	-37.3
生産に対する原材料在庫	1.8	92.8	5.4	-3.6
売上に対する製品在庫	2.0	92.0	6.0	-4.0
採算(経常利益)	16.9	50.9	32.2	-15.3
引合	12.3	31.6	56.1	-43.8
生産設備	12.1	79.3	8.6	3.5
従業員(含臨時・パート)	10.3	81.1	8.6	1.7

▲: 良い、過剰、黒字、活発
 ○: ふつう、適正、収支トントン
 ▼: 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成21年 7月~ 9月)に比べて				前期(平成21年 4月~ 6月)に比べて				前年同期(平成21年 7月~ 9月)と比べた 来期(平成22年10月~ 12月)の見通し			
	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I
A 売上(加工)額	11.7	38.3	50.0	-38.3	20.0	33.3	46.7	-26.7	15.0	36.7	48.3	-33.3
B 売上(加工)単価	3.3	58.4	38.3	-35.0	5.0	68.3	26.7	-21.7	3.3	61.7	35.0	-31.7
C 売上(加工)数量	10.0	36.7	53.3	-43.3	20.0	36.7	43.3	-23.3	13.3	38.3	48.4	-35.1
D 資金繰り	3.4	67.8	28.8	-25.4	1.7	69.0	29.3	-27.6	1.7	67.8	30.5	-28.8
E 輸出入額	0.0	100.0	0.0	0.0					0.0	100.0	0.0	0.0
F 原材料仕入単価	36.2	58.6	5.2	31.0					31.0	62.1	6.9	24.1
G 原材料在庫数量	7.3	70.9	21.8	-14.5					1.8	70.9	27.3	-25.5
H 製品在庫数量	6.0	66.0	28.0	-22.0					2.0	72.0	26.0	-24.0
I 採算(経常利益)	15.3	35.6	49.1	-33.8					11.9	42.4	45.7	-33.8
J 従業員(含臨時・パート)	6.8	74.6	18.6	-11.8					5.1	81.3	13.6	-8.5
K 外部人材(請負・派遣)	10.0	80.0	10.0	0.0					6.7	73.3	20.0	-13.3
L 設備操業率	5.4	48.2	46.4	-41.0					5.5	49.0	45.5	-40.0
M 引合	12.3	42.1	45.6	-33.3								
N 受注残	3.8	59.7	36.5	-32.7								
	15.0	36.7	48.3	-33.3	11.7	50.0	38.3	-26.6	11.9	40.7	47.4	-35.5
O 業況(自社)	前年同期(平成21年 7月~ 9月)に比べて				前期(平成21年 4月~ 6月)に比べて				今期(平成22年 7月~ 9月)と比べた 来期(平成22年10月~ 12月)の見通し			
P 受取手形期間					2.9	94.2	2.9	0.0	0.0	97.1	2.9	-2.9
Q 長期資金借入難度					5.8	73.0	21.2	-15.4	5.8	75.0	19.2	-13.4
R 短期資金借入難度(含手形割引)					6.1	83.7	10.2	-4.1	6.1	83.7	10.2	-4.1
S 借入金					0.0	90.0	10.0	-10.0	0.0	94.0	6.0	-6.0

▲: 増加 ▲: 上昇 ▲: 好転 ▲: 長期化 ▲: 容易
 ○: 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) ○: 不変(B, F, L, S) ○: 不変(D, I, O) ○: 不変(P) ○: 不変(Q, R)
 ▼: 減少 ▼: 低下 ▼: 悪化 ▼: 短期化 ▼: 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画している								実施・計画していない
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	20.3	8.3	0.0	33.3	16.7	25.0	41.7	0.0	16.7	79.7
来期	11.9	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3	28.6	0.0	28.6	88.1

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問題点	1位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	3.7	7.4
新規参入業者の増加	0.0	1.9
製品ニーズの変化への対応	13.0	25.9
生産設備の不足・老朽化	1.9	16.7
生産設備の過剰	0.0	1.9
原材料価格の上昇	7.4	31.5
原材料の不足	1.9	1.9
人件費の増加	3.7	11.1
原材料費・人件費以外の経費の増加	1.9	11.1
製品(加工)単価の低下・上昇難	13.0	37.0
金利負担の増加	0.0	0.0
取引条件の悪化	3.7	22.2
事業資金の借入難	1.9	5.6
従業員の確保難	1.9	1.9
熟練技術者の確保難	1.9	9.3
需要の停滞	42.2	72.2
その他	1.9	3.7

2. 建設業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区分	今期(平成22年7月～9月)の水準			
	今	期	前	D・I
業況(自社)	12.0	34.7	53.3	-41.3
採算(経常利益)	8.0	57.3	34.7	-26.7
引合	10.1	39.1	50.8	-40.7
従業員(含臨時・パート)	5.4	81.1	13.5	-8.1

▲：良い、過剰、黒字、活発
 ○：ふつう、適正、収支トントン
 ▼：悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成21年7月～9月)に比べて				前期(平成21年4月～6月)に比べて				前年同期(平成21年7月～9月)と比べた 来期(平成22年10月～12月)の見通し			
	▲	○	▼	D・I	▲	○	▼	D・I	▲	○	▼	D・I
A 完成工事(請負工事)額	17.3	37.3	45.4	-28.1	24.7	37.0	38.3	-13.6	17.3	38.7	44.0	-26.7
B 資金繰り	2.7	60.8	36.5	-33.8	6.8	61.7	31.5	-24.7	4.1	58.1	37.8	-33.7
C 受注(新規契約工事)額	16.4	31.5	52.1	-35.7					15.1	38.4	46.5	-31.4
D 材料仕入単価	20.0	77.3	2.7	17.3					24.0	70.7	5.3	18.7
E 採算(経常利益)	6.7	38.7	54.6	-47.9					6.7	41.3	52.0	-45.3
F 従業員(含臨時・パート)	9.6	79.4	11.0	-1.4					6.8	85.0	8.2	-1.4
G 外部人材(請負・派遣)	7.7	80.0	12.3	-4.6					6.1	84.8	9.1	-3.0
H 引合	14.9	44.8	40.3	-25.4								
I 契約残(未消化工事高)	14.3	45.7	40.0	-25.7								
	10.7	44.0	45.3	-34.6	13.5	55.4	31.1	-17.6	10.7	42.7	46.6	-35.9
J 業況(自社)												
K 受取手形期間					3.6	94.6	1.8	1.8	1.8	54.8	37.0	-28.8
L 長期資金借入難度					7.1	77.2	15.7	-8.6	4.3	80.0	15.7	-11.4
M 短期資金借入難度(含手形割引)					7.2	78.3	14.5	-7.3	8.7	78.3	13.0	-4.3
N 借入金					7.1	87.2	5.7	1.4	5.6	93.0	1.4	4.2

▲：増加
 ○：不変(A, C, F, G, H, I)
 ▼：減少
 ▲：上昇
 ○：不変(D, N)
 ▼：低下
 ▲：好転
 ○：不変(B, E, J)
 ▼：悪化
 ▲：長期化
 ○：不変(K)
 ▼：短期化
 ▲：容易
 ○：不変(L, M)
 ▼：困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	74.0	12.2	11.1	11.1	33.3	0.0	44.4	0.0	11.1	87.8
来期	73.0	11.0	0.0	12.5	62.5	0.0	25.0	0.0	25.0	89.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	5.8	15.9
新規参入業者の増加	0.0	7.2
材料単価の上昇	2.9	13.0
材料の入手難	0.0	1.4
人件費の増加	0.0	4.3
材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	7.2
請負単価の低下・上昇難	23.2	55.1
下請業者の確保難	1.4	4.3
金利負担の増加	0.0	2.9
取引条件の悪化	4.3	14.5
事業資金の借入難	2.9	4.3
従業員の確保難	0.0	0.0
熟練技術者の確保難	4.3	7.2
下請業者の確保難	0.0	4.3
官公需要の停滞	32.1	66.7
民間需要の停滞	21.7	66.7
その他	1.4	2.9

3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成22年 7月～ 9月)の水準			
	今	期	期	D・I
業 況(自 社)	3.2	47.6	49.2	-46.0
売 上 対 する 商 品 在 庫	17.7	79.1	3.2	14.5
採 算(経常利益)	15.9	53.9	30.2	-14.3
引 合	1.6	50.9	47.5	-45.9
従 業 員(含臨時・パート)	3.3	95.0	1.7	1.6

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成21年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成21年 4月～ 6月)に比べて				前年同期(平成21年 7月～ 9月)と比べた 来 期(平成22年10月～ 12月)の見通し			
	前	年	同	期	前	期	同	期	前	年	同	期
A 売 上 額	11.1	30.2	58.7	-47.6	17.7	38.7	43.6	-25.9	9.5	46.1	44.4	-34.9
B 売 上 単 価	9.7	54.8	35.5	-25.8	8.1	61.3	30.6	-22.5	11.3	59.7	29.0	-17.7
C 資 金 繰 り	9.5	68.3	22.2	-12.7	6.3	73.1	20.6	-14.3	6.3	76.2	17.5	-11.2
D 商 品 仕 入 単 価	19.0	73.1	7.9	11.1					19.0	73.1	7.9	11.1
E 商 品 仕 入 数 量	4.8	39.7	55.5	-50.7					6.3	47.7	46.0	-39.7
F 商 品 在 庫 数 量	3.2	56.5	40.3	-37.1					1.6	59.7	38.7	-37.1
G 採 算(経常利益)	4.8	50.0	45.2	-40.4					4.8	62.9	32.3	-27.5
H 従 業 員(含臨時・パート)	8.3	83.4	8.3	0.0					5.0	90.0	5.0	0.0
I 外 部 人 材(請負・派遣)	4.9	90.2	4.9	0.0					2.4	92.7	4.9	-2.5
J 引 合	5.2	62.0	32.8	-27.6								
K 業 況(自 社)	6.3	54.0	39.7	-33.4	18.5	43.8	37.7	-19.2	4.8	56.5	38.7	-33.9
L 受 取 手 形 期 間					4.2	95.8	0.0	4.2	13.1	57.4	29.5	-16.4
M 長 期 資 金 借 入 難 度					6.9	84.5	8.6	-1.7	7.0	86.0	7.0	0.0
N 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					6.9	87.9	5.2	1.7	7.0	87.7	5.3	1.7
O 借 入 金 利					3.4	91.5	5.1	-1.7	1.7	96.6	1.7	0.0

↗ : 増加
 - : 不変(A, E, F, H, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(B, D, O)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(C, G, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 - : 不変(L)
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変(M, N)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	倉 庫	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	74.0	12.2	11.1	11.1	33.3	0.0	44.4	0.0	11.1	87.8
来 期	73.0	11.0	0.0	12.5	62.5	0.0	25.0	0.0	25.0	89.0

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	1.7	5.2
メーカーの進出による競争の激化	5.2	12.1
小売業の進出による競争の激化	3.4	6.9
新規参入業者の増加	0.0	8.6
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	1.7	6.9
商品在庫の過剰	1.7	3.4
人件費の増加	0.0	8.6
人件費以外の経費の増加	3.4	13.8
販売単価の低下・上昇難	15.5	46.6
仕入単価の上昇	3.4	17.2
金利負担の増加	0.0	0.0
代金回収の悪化	1.7	19.0
事業資金の借入難	1.7	8.6
従業員の確保難	0.0	3.4
需要の停滞	60.6	82.8
そ の 他	0.0	6.9

4.小 売 業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成22年 7月～ 9月)の水準			
	今	期	期	D・I
業 況(自 社)	8.9	34.2	56.9	-48.0
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	14.1	74.4	11.5	2.6
採 算(経 常 利 益)	11.4	51.9	36.7	-25.3
従 業 員(含 臨 時・パ ー ト)	5.4	79.7	14.9	-9.5

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成21年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成21年 4月～ 6月)に比べて				前年同期(平成21年 7月～ 9月)と比べた 来 期(平成22年10月～ 12月)の見通し			
	前	年	同	期	前	期	同	期	前	年	同	期
A 売 上 額	17.5	31.3	51.2	-33.7	32.5	28.8	38.7	-6.2	18.8	40.0	41.2	-22.4
B 客 単 価	7.5	47.5	45.0	-37.5	11.3	51.2	37.5	-26.2	7.5	48.7	43.8	-36.3
C 客 数	11.3	37.5	51.2	-39.9	25.0	30.0	45.0	-20.0	16.3	36.3	47.4	-31.1
D 資 金 繰 り	6.3	58.7	35.0	-28.7	8.8	59.9	31.3	-22.5	7.5	61.2	31.3	-23.8
E 商 品 仕 入 単 価	19.0	63.3	17.7	1.3					13.9	69.6	16.5	-2.6
F 商 品 仕 入 額	19.0	40.5	40.5	-21.5					12.7	51.9	35.4	-22.7
G 商 品 在 庫 数 量	8.8	58.7	32.5	-23.7					6.3	62.4	31.3	-25.0
H 採 算(経 常 利 益)	10.1	45.6	44.3	-34.2					8.9	50.6	40.5	-31.6
I 従 業 員(含 臨 時・パ ー ト)	7.0	86.0	7.0	0.0					5.6	88.8	5.6	0.0
J 外 部 人 材(請 負・派 遣)	0.0	90.7	9.3	-9.3					2.3	90.9	6.8	-4.5
K 業 況(自 社)	12.5	37.5	50.0	-37.5	17.9	37.2	44.9	-27.0	11.3	41.3	47.4	-36.1
	前年同期(平成21年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成21年 4月～ 6月)に比べて				今 期(平成22年 7月～ 9月)と比べた 来 期(平成22年10月～ 12月)の見通し			
L 長 期 資 金 借 入 難 度					4.2	67.6	28.2	-24.0	4.4	72.1	23.5	-19.1
M 短 期 資 金 借 入 難 度(含 手 形 割 引)					3.0	71.2	25.8	-22.8	3.2	72.6	24.2	-21.0
N 借 入 金 利					4.3	88.6	7.1	-2.8	7.4	88.2	4.4	3.0

↗ : 増加
 - : 不変(A, C, F, G, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(D, H, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変(L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	OA 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	17.5	0.0	21.4	42.9	35.7	14.3	21.4	0.0	7.1	82.5
来 期	10.1	12.5	0.0	0.0	50.0	12.5	37.5	0.0	12.5	89.9

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3 位
大・中型店の進出による競争の激化	10.5	30.3
同 業 者 の 進 出	7.9	14.5
購 買 力 の 他 地 域 へ の 流 出	10.5	30.3
消 費 者 ニ ー ス の 変 化 へ の 対 応	11.8	23.7
店 舗 の 狭 隘・老 朽 化	0.0	6.6
駐 車 場 の 確 保 難	0.0	3.9
商 品 在 庫 の 過 剰	1.3	3.9
人 件 費 の 増 加	0.0	7.9
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	1.3	9.2
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	14.5	46.1
仕 入 単 価 の 上 昇	5.3	13.2
金 利 負 担 の 増 加	0.0	0.0
代 金 回 収 の 悪 化	0.0	1.3
事 業 資 金 の 借 入 難	3.9	11.8
従 業 員 の 確 保 難	1.3	5.3
需 要 の 停 滞	29.1	50.0
そ の 他	2.6	6.6

5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成22年7月～9月)の水準			
	今	期	前	D・I
業況(自社)	3.4	56.4	40.2	-36.8
採算(経常利益)	13.6	61.4	25.0	-11.4
従業員(含臨時・パート)	7.7	82.0	10.3	-2.6

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成21年7月～9月)に比べて				前期(平成21年4月～6月)に比べて				前年同期(平成21年7月～9月)と比べた 来期(平成22年10月～12月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	同	D・I	前	年	同	D・I
A 売上(収入)額	17.0	43.2	39.8	-22.8	26.1	37.5	36.4	-10.3	9.1	56.8	34.1	-25.0
B 客単価	3.6	64.3	32.1	-28.5	6.0	67.8	26.2	-20.2	0.0	71.4	28.6	-28.6
C 利用客数	16.0	49.4	34.6	-18.6	17.3	54.3	28.4	-11.1	9.9	59.2	30.9	-21.0
D 資金繰り	4.8	59.1	36.1	-31.3	6.0	66.3	27.7	-21.7	2.4	60.3	37.3	-34.9
E 仕入単価(材料等)	21.7	67.5	10.8	10.9					18.1	74.7	7.2	10.9
F 採算(経常利益)	5.7	44.8	49.5	-43.8					2.3	51.2	46.5	-44.2
G 従業員(含臨時・パート)	9.1	76.6	14.3	-5.2					1.3	87.0	11.7	-10.4
H 外部人材(請負・派遣)	14.5	76.4	9.1	5.4					7.3	83.6	9.1	-1.8
I 業況(自社)	8.1	54.7	37.2	-29.1	16.7	57.1	26.2	-9.5	5.9	61.2	32.9	-27.0
L 長期資金借入難度					6.7	57.3	36.0	-29.3	3.9	63.6	32.5	-28.6
M 短期資金借入難度(含手形割引)					4.5	65.6	29.9	-25.4	2.9	69.2	27.9	-25.0
N 借入金					5.6	84.5	9.9	-4.3	9.7	84.7	5.6	4.1

↗ : 増加
 - : 不変(A, C, G, H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(D, F, I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変(L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	建物	サービス設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	23.0	5.0	5.0	30.0	20.0	20.0	40.0	0.0	5.0	77.0
来期	15.3	0.0	15.4	30.8	7.7	23.1	46.2	7.7	0.0	84.7

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	8.6	14.8
新規参入業者の増加	6.2	18.5
利用者ニーズの変化への対応	8.6	40.7
店舗施設の狭隘・老朽化	3.7	7.4
人件費以外の経費の増加	4.9	11.1
人件費以外の経費の増加	7.4	18.5
利用料金の低下・上昇難	3.7	32.1
材料等仕入単価の上昇	2.5	11.1
金利負担の増加	0.0	2.5
事業資金の借入難	3.7	13.6
従業員確保難	1.2	9.9
熟練従業員確保難	1.2	14.8
需要の停滞	43.4	71.6
その他	4.9	9.9